

口腔内環境改善に向けての 取り組み

特別養護老人ホーム 小鹿苑
介護サービス課 介護員 澤脇隼太
小川卓也

社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会 特別養護老人ホーム 小鹿苑

- ▶ 長期入居 定員80名
 - ▶ 短期入所 定員20名
 - ▶ その他、デイサービス・ホームヘルプ・居宅支援・地域包括支援事業を展開。
 - ▶ 静岡済生会総合病院隣接のもと、医療・保健・福祉の一体化を図り、高齢者が施設や地域において、安心してその人らしく暮らせるよう支援しています。
- また、高齢者福祉の向上に貢献し、地域社会の福祉拠点となるよう活動しています。

口腔内環境改善に向けて動いた経緯

- 口腔ケアの方法が統一されていない。
- 口腔内環境の悪化によりオーラルフレイルを引き起こし、残存歯の減少による咀嚼機能の低下・ムセの増加によって引き起こされる誤嚥に伴う窒息等のリスクや、口腔内機能低下による認知機能への影響など多岐にわたって問題が発生しかねない。
- 口腔内の環境を改善することで利用者様本来の生活を取り戻す。その為には口腔ケア内容の見直しを行い評価・実践をしていく必要性がある。

突然ですが...

**皆様は口腔ケアについて
悩んだことはありますか？**

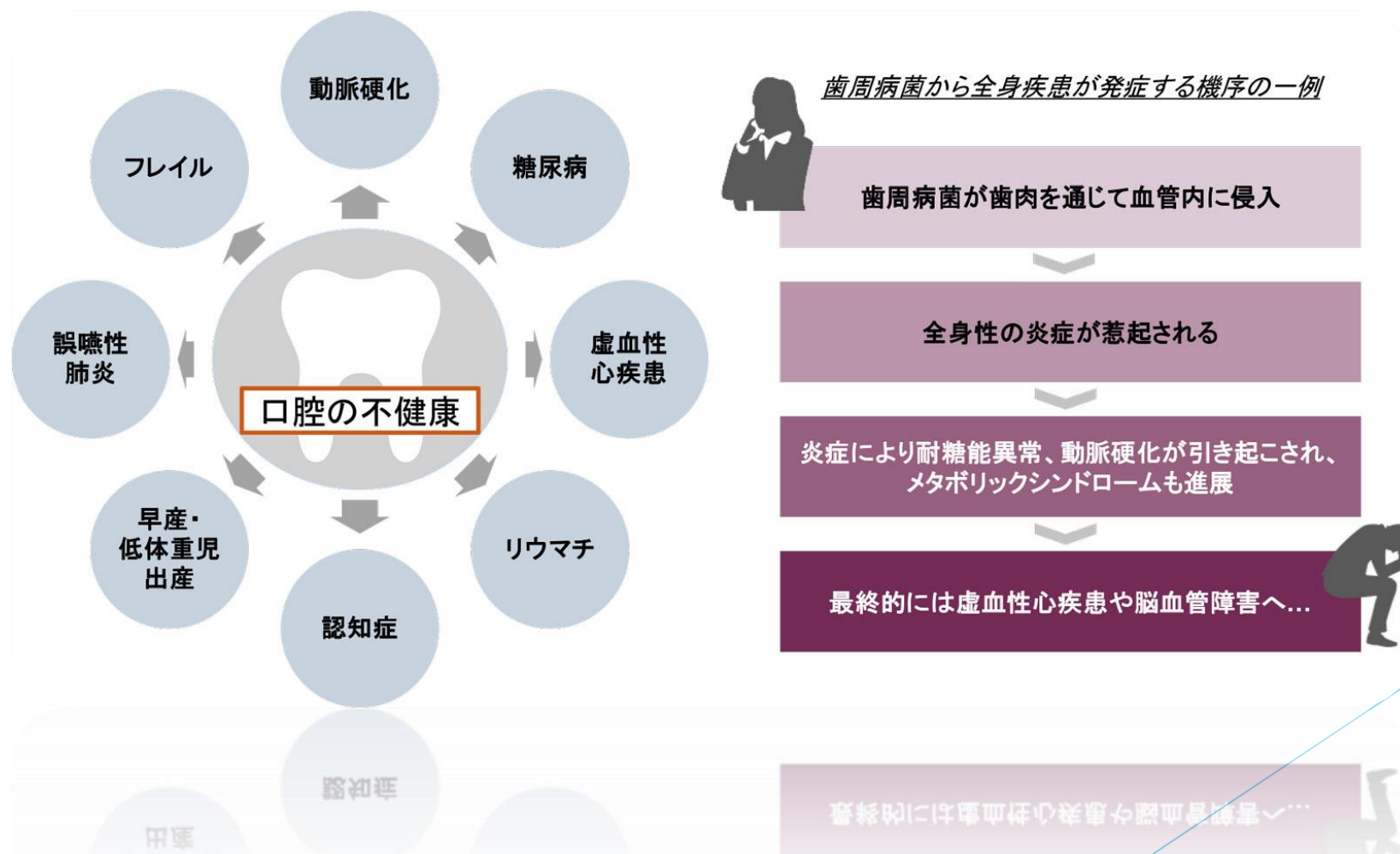
介護施設における 口腔ケアについての困りごと

行っている口腔ケアが
適切かどうかわからない

本人に任せているが十分でない

認知症等により本人が嫌がる

口腔内環境悪化に伴い考えられるリスク



口腔内環境改善による効果

虫歯・歯周病の予防、口臭の軽減等

細菌が血管に侵入することを予防し
健康の維持に繋がる。

日常生活を健康に過ごせることで、
より豊かな生活を送ることができる。

口腔内環境改善の為にまず行ったこと

- ▶ **口腔ケアチェック表の用意**
- ▶ **口腔ケアの重要性を職員間で共有**
- ▶ **必要物品を整備し、ケアを行しやすい環境を整える**

評価方法

OHATによる口腔
内評価表を用いて
評価を行う。



毎週金曜日に訪問
歯科を受けていた
だき、アドバイスを
いただきながら口
腔内環境の改善を
行っていく。



11月、2月、1月と
経過を追い、どの
程度口腔内の評価
点数が変動してい
くかを記録する。

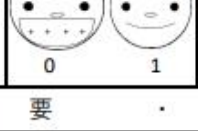
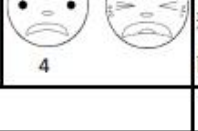
OHAT-Jとは・・・

オーストラリアの歯科医師D r ・ C h a l m e r sらが作成した看護、介護スタッフが要介護者の口腔問題を簡便に評価するための口腔スクリーニングツールのこと。

評価は8項目あり、健全から病的の3段階に分類されます。これを、東京歯科大学教授らによって日本語版に翻訳されたものがO H A T - J といえます。

ORAL HEALTH ASSESSMENT TOOL 日本語版 (OHAT-J)

(Chalmers JM, 2005; 松尾, 2016)

ID:	氏名:		評価日: / /	
項 目	0 = 健 全	1 = やや不良	2 = 病 的	スコア
口 唇	 正常, 湿潤, ピンク	 乾燥, ひび割れ, 口角の発赤	 腫脹や腫瘍, 赤色斑, 白色斑, 潰瘍性出血, 口角からの出血, 潰瘍	
舌	 正常, 湿潤, ピンク	 不整, 亀裂, 発赤, 舌苔付着	 赤色斑, 白色斑, 潰瘍, 腫脹	
歯肉・粘膜	 正常, 湿潤, ピンク	 乾燥, 光沢, 粗造, 発赤 部分的な(1-6 歯分)腫脹 義歯下の一部潰瘍	 腫脹, 出血(7 歯分以上) 歯の動揺, 潰瘍 白色斑, 発赤, 圧痛	
唾 液	 湿潤, 漿液性	 乾燥, べたつく粘膜, 少量の唾液 口渇感若干あり	 赤く干からびた状態 唾液はほぼなし, 粘性の高い唾液 口渇感あり	
残存歯 ☐ 有 ☐ 無	 歯・歯根の う蝕または破折なし	 3本以下の う蝕, 歯の破折, 残根, 咬耗	 4本以上のう蝕, 歯の破折, 残根 非常に強い咬耗 義歯使用無しで3本以下の残存歯	
義 歯 ☐ 有 ☐ 無	 正常 義歯, 人工歯の破折なし 普通に装着できる状態	 一部位の義歯, 人工歯の破折 毎日1-2時間の装着のみ可能	 二部位以上の義歯, 人工歯の破折 義歯紛失, 義歯不適のため未装着 義歯接着剤が必要	
口腔清掃	 口腔清掃状態良好 食渣, 歯石, ブラークなし	 1-2部位に 食渣, 歯石, ブラークあり 若干口臭あり	 多くの部位に 食渣, 歯石, ブラークあり 強い口臭あり	
歯 痛	 疼痛を示す 言動的, 身体的な兆候なし	 疼痛を示す言動的な兆候あり: 顔を引きつらせる, 口唇を噛む 食事しない, 攻撃的になる	 疼痛を示す身体的な兆候あり: 頬, 歯肉の腫脹, 歯の破折, 潰瘍 歯肉下膿瘍。言動的な徴候もあり	
歯科受診 (要 ・ 不要)			再評価予定日 / /	合計

Chalmers JM, King PL, Spencer AJ, Wright FA, Carter KD: The oral health assessment tool - validity and reliability. Australian dental journal. 50:191-199. 2005.

松尾浩一郎, 中川量晴. 口腔アセスメントシート Oral Health Assessment Tool 日本語版 (OHAT-J) の作成と信頼性, 妥当性の検討. 障害者歯科. 37:1-7. 2016

Oral Health Assessment Tool (OHAT) 日本語版. Available from: <https://www.ohcw-tmd.com/research>

対象者紹介

▶ A様：92歳

要介護5

▶ 既往歴：高血圧症

閉塞性動脈硬化症

アルツハイマー型認知症

腰椎圧迫骨折

胸椎圧迫骨折

認知症の進行に伴い、自力での口腔ケアが不可能。
口腔ケアで容易に出血がみられたため、
愛護的にケアを実施した。
出血予防に努めながら口腔ケアの回数を増やし、
統一したケアを継続的に行う事で、口腔内環境の
改善を目指した。

対象者紹介

▶ B様：76歳

- ▶ 既往歴：左膝半月板欠損
卵巣腫瘍手術
出血性十二指腸潰瘍
左下肢静脈血栓症
うつ病

要介護5

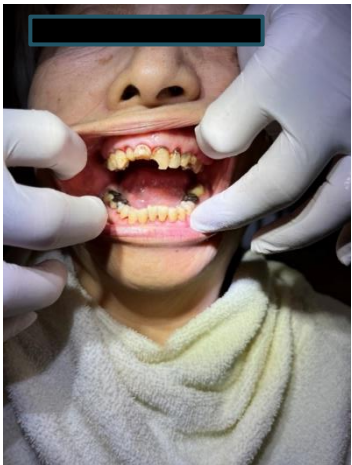
自力で口腔ケアを行うことが出来るものの、磨き残しが多く、歯間に歯垢が付着している状態であった。動揺歯に留意しながらブラッシングを行った。口腔ケアにより歯垢の改善を目指した。

経過①

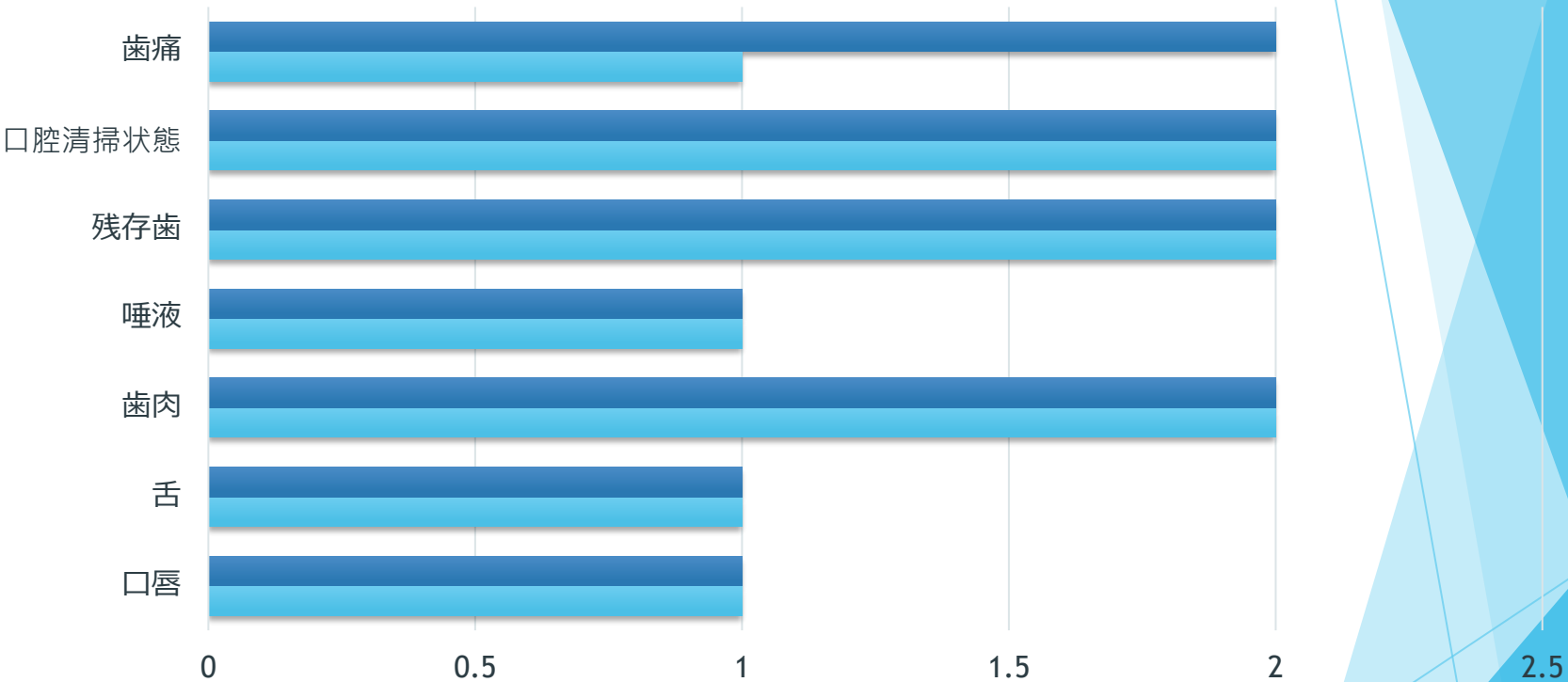
A様



B様



口腔内評価【1 1月】



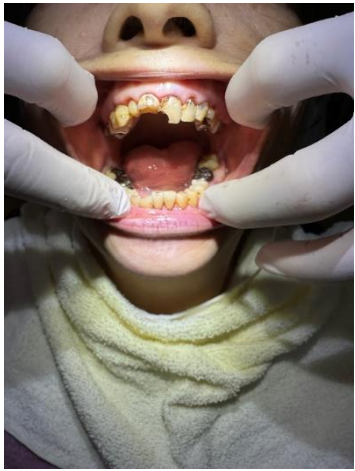
	口唇	舌	歯肉	唾液	残存歯	口腔清掃状態	歯痛
A様	1	1	2	1	2	2	2
B様	1	1	2	1	2	2	1

経過②

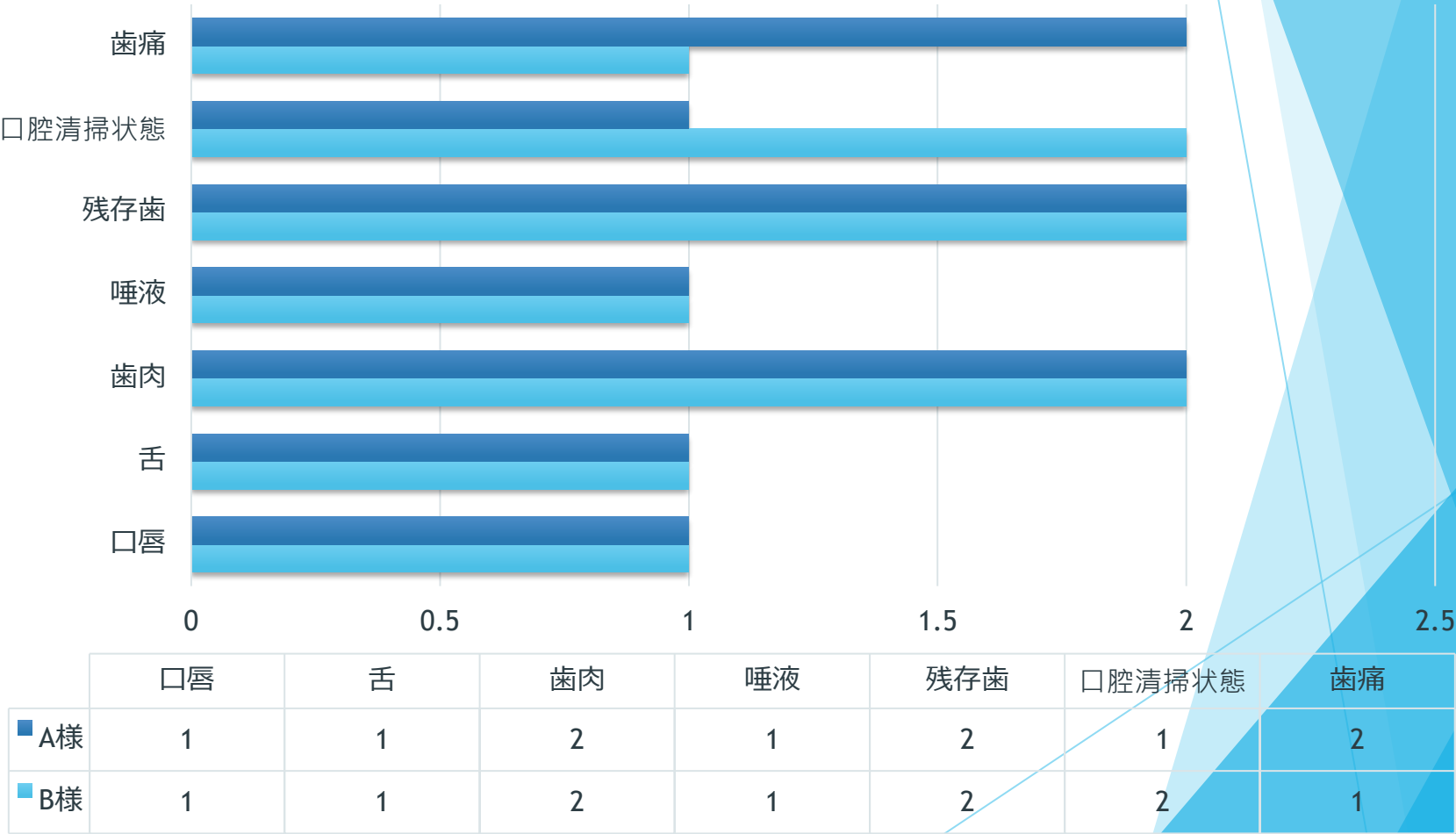
A様



B様



口腔評価表【1 2月】



経過③

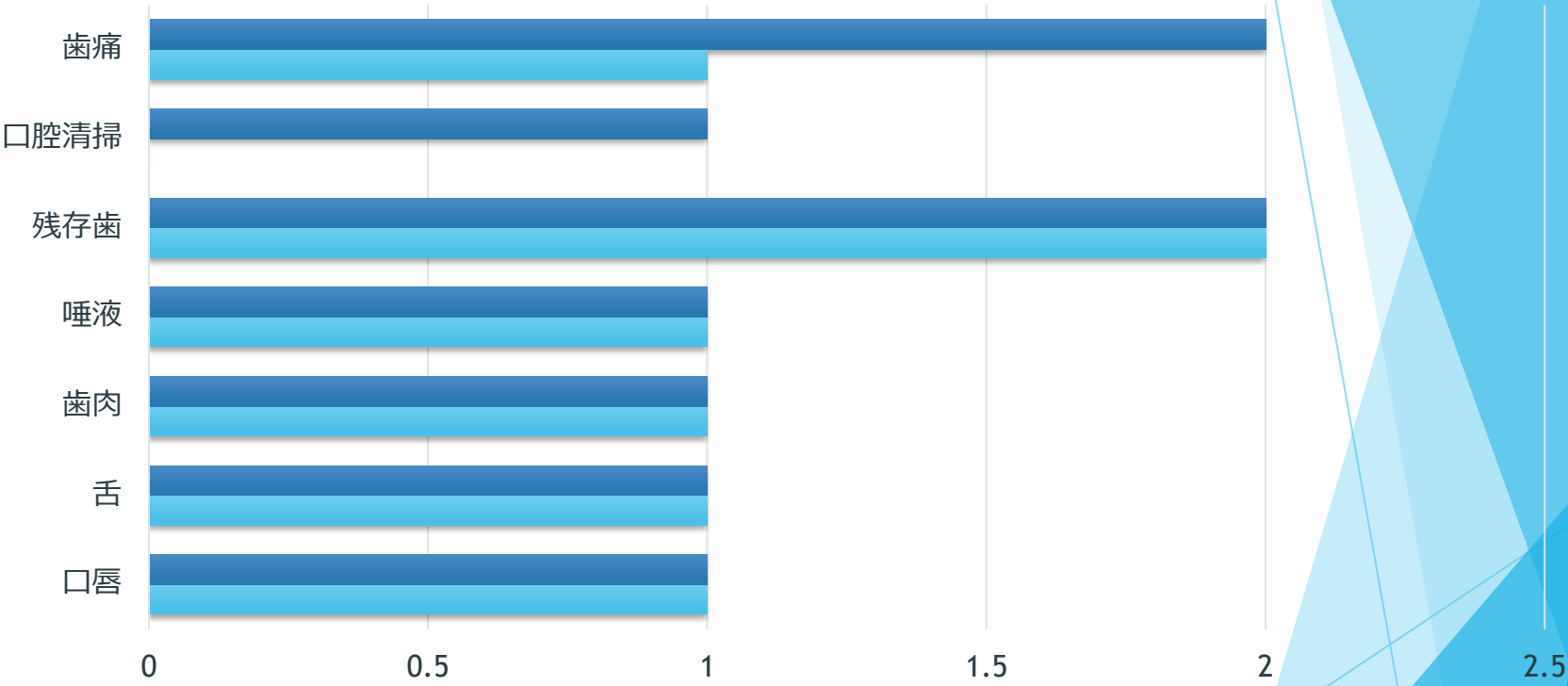
A様



B様

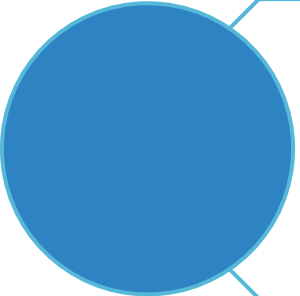


口腔評価表【1月】

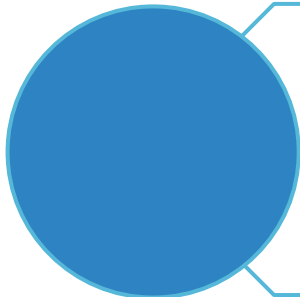


	口唇	舌	歯肉	唾液	残存歯	口腔清掃	歯痛
A様	1	1	1	1	2	1	2
B様	1	1	1	1	2	0	1

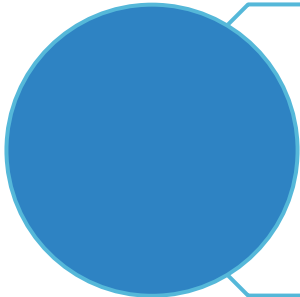
今回の事例を通して



口腔内環境の改善を行う事により、体全体の疾患の予防、健康維持のみにとどまらず、QOLの向上にも貢献するという重要なケアという事を改めて認識した。



この取り組みを通し、職員間で情報共有する機会が増加するなど、口腔ケアへの意識にも変化が見られた。



今回の結果として大幅な改善は見られなかったが、OHATを活用し点数化することによって、目に見える形で口腔内環境の変化を実感することができた。

この実感を忘れず、引き続き口腔環境改善に向けた取り組みを行っていきたい。

ご清聴ありがとうございました